



GLOBAL MAPPING NEWSLETTER 62

第18回地球地図国際運営委員会（ISCGM）会合

ISCGM 事務局



第18回地球地図国際運営委員会の会合は、2011年6月25日（土）、英国ウィンチェスター市において、2011年ケンブリッジ会議の前日に開催されました。会合には、テイラー委員長をはじめとする国家地図作成機関の代表など14名の参加がありました。

会合では、事務局からの報告として、

- ・プロジェクト参加・データ整備状況
- ・メタデータエディタ及び品質管理プログラムの開発
- ・地球地図整備マニュアルの仏語 / スペイン語版作成
- ・ユーザニーズの調査、データ利用状況
- ・災害対応、各種国際会議における地球地図の

PR等の報告を行いました。

WG2からは、地球地図仕様第2.1版の採択、25万分1等の従来より大きい縮尺の地球地図データ整備の検討状況の報告、WG4からは、地球地図第2版全球版（土地被覆、樹木被覆率）のデータ整備進捗報告がありました。

この会合の主な議論は、2012年の地球地図第2版完成に向けてのデータ整備促進方策、利活用促進方策であり、各国は一部のレイヤーのみでもデータ公開を行うことを奨励するとともに、PCGIAP、PCIDEA等の地域の枠組との連携を強化していきます。詳細な決議内容は次ページを参照して下さい。

第 18 回 ISCGM 会合決議

ウィンチェスター

2011 年 6 月 25 日

1. データ整備

- a) ISCGM は、参加 NMO の地球地図第 2 版整備に向けた努力に感謝する。
- b) ISCGM は、参加 NMO が地球地図第 2 版を整備・公開し、すべてのレイヤが整わなくてもデータを提出するよう奨励する。ISCGM は、縮尺 100 万分 1 データを標準とし、既存の仕様を用いた縮尺 25 万分 1 より大縮尺のデータは任意であり受け入れ可能と決定した。
- c) 地球地図第 2 版のデータ整備・公開をさらに促進し、各地域の NMO のデータ提出を奨励するため、ISCGM は PCGIAP、PCIDEA 及び PAIGH などの地域の機関との協力を強化することを決定した。
- d) ISCGM は、参加 NMO が、WG4 と事務局が現在整備中である全球土地被覆 (GLCNMO) 第 2 版及び全球樹木被覆率第 2 版のためのトレーニング・データ及び検証データを提出するよう奨励する。
- e) ISCGM は、ISCGM 事務局による地球地図第 2 版のための「メタデータエディタ」及び「品質管理プログラム」の作成の努力に感謝する。

2. 仕様

- a) ISCGM は、2011 年 6 月の仕様第 2.1 版の採択を歓迎する。
- b) ISCGM は、WG2 が WG4 と協議し、高解像度のラスタデータを含む地球地図仕様第 2.2 版の草案作成を行うよう奨励する。

3. 第 4 期 (2013 ~) のための大縮尺の地球地図整備

- a) ISCGM は、事務局及びワーキンググループ 2 が、NMO やユーザ向けのアンケート調査の結果をもとに、縮尺 25 万分 1 データ整備のための仕

様をさらに検討するよう要請する。

- b) ISCGM は、事務局が縮尺 25 万分 1 データ整備の技術的側面を準備するよう要請する。仕様の変更は最小限に留めるよう期待される。

4. データ利用の促進

- a) ISCGM は、事務局がユーザなどへのアンケート調査をとおり、さらにユーザの要望を調査するよう奨励する。
- b) ISCGM は、事務局が地球地図データの Geospatial PDF への試験的な変換を行い、ユーザの要望を調査することを確認する。
- c) ISCGM は、すべての NMO がこれらの点における事務局の要請に応えるよう奨励する。

5. 地球地図アウトリーチ活動

ISCGM は、気候変動枠組条約締約国会議、地球観測に関する政府間会合、世界水フォーラム、Rio+20、ICC、ISPRS 及び UNGGIM などの国際会議における地球地図のユーザを拡大するための活動を支援する。

6. 次回会合

2012 年に予定される ISCGM の次回会合の候補地として、第 19 回国連アジア太平洋地域地図会議または UNGGIM など検討され、事務局は予算が確定し次第これを考慮する。

7. 謝辞

ISCGM は本会合の開催にあたり、英国陸地測量部及び事務局に心から感謝し、さらに地球地図作成における事務局の継続的な努力に感謝する。

第2回開発情報と科学技術委員会（CODIST-II）参加報告

齋藤 秀勝

国土地理院企画部国際課課長補佐

第2回開発情報と科学技術委員会（CODIST-II）が2011年5月3日～5日にエチオピアのアディスアベバで開催されました。CODISTは、国連アフリカ経済委員会（ECA）の下部組織の1つで、2009年に第1回委員会（CODIST-I）が開催されています。CODISTは、科学技術、情報通信技術（ICT）、地理情報の3つの分科会から構成されています。筆者はCODIST-IIに地理情報分科会のオブザーバーとして参加しました。

地理情報分科会には加盟国のほか、アフリカ以外からのオブザーバーも含めて100名以上が参加しました。地理情報分科会の本会議では、ECAの活動報告のほか、加盟国及び国際組織、民間企業からの報告があり、以下の項目について決議がなされました。

- ・ NSDI 及び地理空間情報に対応した行政サービス
- ・ 地球規模の地理空間情報管理
- ・ コミュニティーマッピング
- ・ アフリカ測地基盤

日本からは、独立行政法人国際協力機構（JICA）、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）及び国土地理院が、5月5日に特別セッション「経済基盤整備のための効率的な地理空間情報整備への協力－衛星技術を中心とした地図作成と環境保全－」を開催し、アフリカからもブルキナファソ国土地理院（IGB）及びRegional Centre for Mapping of Resources for Development（RCMRD）の講演協力を得て、特に日本の陸域観測技術衛星「だいち（ALOS）」を活用した効率的な地形図整備と技術協力にスポットをあて、以下の発表を行いました。

- ・ 地理空間情報分野における日本の科学技術協力（JICA）
- ・ ブルキナファソにおける日本の協力による地形図整備（IGB）
- ・ ALOS「だいち」の概要及び地図作成への利用（JAXA）

- ・ ALOS 光学画像を用いた5万分1地形図作成マニュアルについて（国土地理院）
- ・ 地球環境保全に資するリモートセンシング及び地理空間情報技術の活用について（RCMRD）

特別セッションの参加者からは、東日本大震災におけるALOSの運用や、JICAの技術協力の枠組みに関する質問が寄せられました。

また、会期中には日本のブースにおいて、ALOS画像やJICAの技術協力による地形図、地球地図プロジェクトなどのパネルを展示しました。地球地図は特に教育関係者に人気がありました。



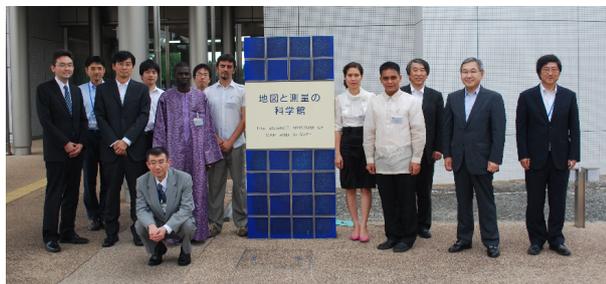
特別セッション



日本の展示ブース

JICA 集団研修環境地図（地球地図）作成コース開講

国土地理院



本年度も JICA 集団研修コース "Global Mapping for Sustainable Development" が始まりました。2012 年の地球地図第 2 版の公開を目標に、データの整

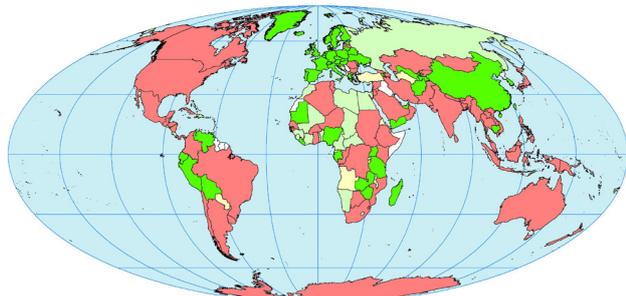
備・更新を行う技術を身に付けるとともに、データの利活用方策についても学びます。

本年度は 3 月に地球地図プロジェクトに参加表明をしたセルビアをはじめ、セネガル、フィリピン、ベトナムの 4 カ国の国家地図作成機関から 4 名が参加しています。6 月 9 日～8 月 25 日まで国土地理院で研修生の受け入れを行います。次号のニュースレターで研修員の様子を詳しく紹介します。

事務局から

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2011 年 6 月 25 日現在、165 カ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加しています。そのうち 71 カ国 / 4 地域の地球地図が公開されています。



- データ公開中
- データ検証中
- データ作成中
- プロジェクト参加を検討中
- プロジェクト未参加

本図は参考のために作成したものであり、国境についてはいかなる組織によっても公認されたものではありません。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2011 年

- ・ 6 月 26 日～7 月 1 日、英国、サウサンプトン
2011 ケンブリッジ会議
- ・ 7 月 3 日～8 日、フランス、パリ
第 25 回国際地図学会議 (ICC2011)
- ・ 7 月 21 日～22 日、モンゴル、ウランバートル
第 17 回 PCGIAP 会合
- ・ 8 月 23 日～25 日、オーストラリア、パース
第 7 回デジタルアース国際シンポジウム (ISDE7)
- ・ 10 月 24 日～26 日、大韓民国、ソウル
地球規模の地理空間情報管理に関する
ハイレベルフォーラム



NEWSLETTER は地球地図情報紙として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局
 連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内
 Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-8087
 ホームページ: <http://www.iscgm.org/>
 E-mail: sec@iscgm.org